

大好き！絵本

初瀬 恵美



『はっきよい 畑場所』
絵・文：かがくい ひろし
出版社：講談社

いつもは、足早に過ぎる秋ですが、今年は珍しく、秋らしい秋の日が多かったですね。天気が良く、気持ちの良い天気恵まれた10月でした。

さて今月は、実りの秋にちなみ、野菜がいっぱい登場する『はっきよい畑場所』を紹介します。この絵本は『だるまさんが』など、だるまさんシリーズでおなじみのかがくいひろしさんの絵本です。かがくいさんの絵本はどの絵本をみても、ほのぼのとして、ほっこりした気分になる絵本ばかりです。

今回は、畑の野菜たちが主人公となり、相撲をくりひろげます。「テケテン テン テケテケテン おおずもう はたけばしょの せんじゅうらくです」と始まるこの絵本。その下には、とりくみ表が書かれています。試合は4回戦まで終わり、5回戦目が始まるとうしているところを、実況中継はじめ、話がつながっていきます。司会は「みみずたろう」 解説は「けるのすけおやかた」とユーモアあふれる絵本になっています。

5回戦「ひが〜ん〜 たまねに〜んき〜 たまねに〜んき〜」
「に〜ん〜 にん〜び〜わか〜 にん〜び〜わか〜」と二人の勝負が始まります。

ふんどしをまいた野菜が何ともいえない、愛くるしさをかもしだしています。そして、戦う野菜たちは、どこの県出身の、何部屋に属する、誰かということが、表紙の裏に書いてあり、それもまた楽しみの一つになっています。

ちなみに、この勝負はたまね錦の皮がむけて、にんじ若が滑り、はたきこみで、たまね錦の勝ちとなりました。一回戦ずつの勝負、その判定も面白いものになっています。

最後には東の横綱「すい海(スイカ)」対、西の横綱「だいこの嵐(だいこん)」では、大ハプニングがおこります。どんなハプニングで、どうなるのか。この絵本の一番の見所です！

野菜を力士に見立てたこの絵本、今までにない視点で面白いものとなっています。11月下旬には、「収穫感謝祭の集い」や「ちびっこ相撲大会」も行われます。ちょうど、タイムリーなこの絵本。子どもたちと、楽しんでいきたいと思います。



かがくいひろし
かみまき
たまね錦

